

演題名	レンタル福祉用具の費用の削減		
施設名	竹川病院	(ふりがな) 発表者(職種)	なごや ともよ 名古屋知世(作業療法士)
(ふりがな) チーム名	ちりつ せつやく 塵も積もれば節約にな～る		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取組種別	問題解決型		
改善しようとした 問題課題	当院では2012年3月から福祉用具のレンタルをしている。しかし、当院が提携している福祉用具会社より2023年7月1日から福祉用具レンタル一品につき運搬費として500円の値上げ、レンタルデモの廃止を告げられた。このため、今後の福祉用具レンタルにかかる大幅なコストアップへの対応を検討した。		
改善の指標と その目標値	(指 標)福祉用具レンタルの価格と質 (目標値)9月1日までに運搬費60%(161床中98床)を削減 現在のレンタル福祉用具運用の質を落とさず 新しいレンタル福祉用具会社へのシームレスな切り替え 新しい運用方法の定着		
実施した対策	新規のレンタル福祉用具会社の開拓・変更 レンタル福祉用具の注文方法の効率化のために、ペーパーレスでの方法に変更 新しい注文方法のスタッフへの周知 運用方法の確認と修正		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前)レンタル福祉用具1点につき500円の送料がかかってしまっていた。また、今まで使用できていたデモレンタル福祉用具が廃止された。 (実施後)7月1日～9月31日までの期間で以前の福祉用具会社と比較して、配送料だけで75,000円安くなり、費用合計だと270,175円安くなった。 福祉用具注文にかかる時間が短縮された。		
歯止めと 標準化	福祉用具に不具合が生じた時に各担当者がスプレッドシートで交換依頼をする。 班編成時に各フロアの福祉用具係が福祉用具のレンタル方法を伝達する。 福祉用具の運用方法に変更があった時に福祉用具係が変更内容を伝達する。		
活動の種類 ※複数選択可	①職場単位の活動 ③テーマに合わせて形成したチーム活動	チーム メンバー (職種)	1 梶田亮 医師
活動の場 ※複数選択可	②支援部門		2 羽中田賢 理学療法士
活動期間	2023年4月～2023年11月		3 名古屋知世 作業療法士
リーダー名 (職種)	羽中田賢(理学療法士)		4 齋藤千菜 理学療法士
活動回数	21 回		5 鈴木真吾 作業療法士
			6 池端渚 理学療法士
			7 飯塚光希 理学療法士
			8 月田雅史 看護師
			9 梶原志保 看護師
			10 鈴木工 総務

【背景・テーマ選定】

福祉用具レンタル運送費の値上げ

レンタル福祉用具の目的

- ・患者の身体機能に合い、メンテナンスの行き届いた福祉用具が提供できる
- ・常に清潔な福祉用具の提供できる
- ・余分な福祉用具を院内に置かないことで管理や安全性が確保できる

↓

2012年3月からレンタル福祉用具開始

当院が提携しているレンタル福祉用具会社から
2023年7月1日からレンタル福祉用具一品につき
運搬費として500円の値上げ
レンタルデモの廃止を告げられた

福祉用具レンタルにかかる大幅なコストアップへの早急な対応が必要となった

【現状把握】

2022年4月1日～2023年3月31日までの既存の福祉用具業者からのレンタル数の集計

	納品(デモ福祉用具含む)
車椅子	565
チルト・リクライニング車椅子	147
歩行器	404
環境設定関連	167
合計	1,283

車椅子や歩行補助具、手すりなどの福祉用具はデモレンタルも含め多くの品数をレンタルしている。また修理交換や汚染した福祉用具の交換も多数あった

このまま対策をしないでレンタルをし続けると余計な出費が増える

一品につき送料500円上乗せされた場合の金額

1,283台×500円 = 641,500円

運搬費だけで上記の金額が年間増額されることが予想される

10年間付き合い合ってきたレンタル福祉用具会社の切り替えに際し、一番困ることは…

信用 + 信頼

お互いの関係性を一から作り上げなければならない

【目標設定】

何を	福祉用具レンタルの価格と質を
いつまでに	9月1日までに
どうする	運搬費60% (161床中98床) を削減 新しい運用方法の定着 レンタル福祉用具運用の質を落とさず新しいレンタル福祉用具会社へのシームレスな切り替え

【要因解析】

レンタル福祉用具の費用増大

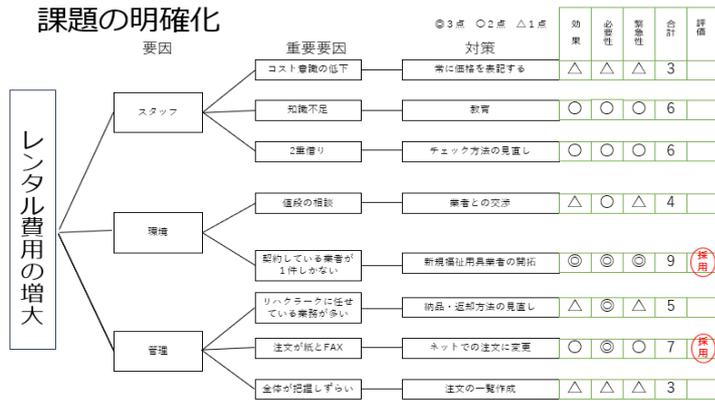
【要因解析まとめ】

福祉用具レンタルの費用が増大する要因を

- ①スタッフ
- ②環境
- ③管理

以上の3つの視点から検証した

【要因解析】



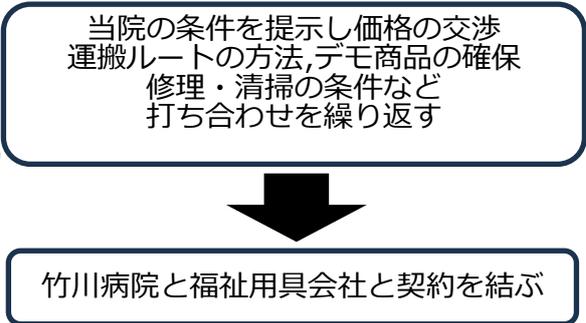
要因解析に基づき課題の明確化をした。その結果、
 ①新規福祉用具業者の開拓
 ②ネットでの注文に変更
 の2点についての対策を検討する必要があった

【対策の立案と実施】

■ レンタル福祉用具会社の選定条件

- ・ 現行のレンタルと同じ条件での運営が可能 (毎日配送 デモ期間がある 修理や清掃で交換が可能)
- ・ 現行のレンタルと料金が同一もしくは安価
- ・ 福祉用具会社の母体がしっかりしている

■ インターネットで福祉用具会社を探す



以前から付き合いのある福祉用具会社数件に連絡をするが、条件にあう福祉用具会社はなかった。その後インターネットで十数件にメールや電話などで探し1件見つけることが出来た。レンタル福祉用具会社はこれまで回復期病院の福祉用具のレンタルは行っていなかったが「竹川病院と一緒に仕事をしたい」と話され、何回も打ち合わせを行い7月1日から開始となった



■ スタッフへの指導と周知

スタッフにはまず福祉用具会社を変える必要性を説明し、新しい福祉用具会社と一緒に新しいレンタルのシステムを作り上げていく重要性、レンタル福祉用具の性能と商品のラインナップ、コストについての説明を行った

■ 注文をGoogleフォームに変更

対策の実施②

注文の効率化を図る

紙媒体でFAX注文 → Googleフォームでの注文

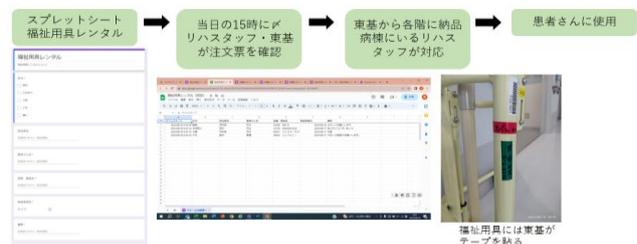
注文票のペーパーレス化

- 紙代
- 印刷代
- FAX代
- 保存するスペース代
- キャビネット等の什器代
- 機密文書処理代
- 人件費



新規レンタル福祉用具会社

【納品の流れ】



紙を使ってFAX注文をしていた時に比べ注文から納品までの工程がシンプルになった

【効果の確認】

■福祉用具レンタル切り替え

新規レンタル福祉用具会社に
病床数**60%変更**が達成出来た

7月1日から4階病棟入院患者さんから徐々に新規福祉用具会社に切り替え、9月1日より3階病棟入院患者さんも切り替えを行った。切り替え時大きな問題もなくスムーズに行えた

目標達成



■福祉用具レンタル費

7月1日～9月31日まで
150件の福祉用具の納品・デモがあった
⇒新規福祉用具業者での費用は
福祉用具の価格361,905円+配送料0円

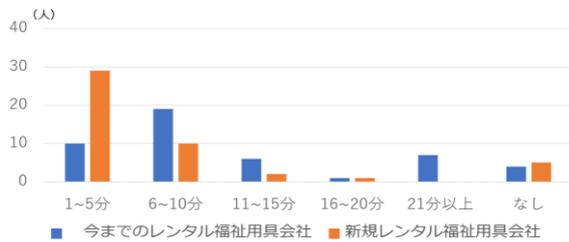
従来の福祉用具業者で借りた場合は
福祉用具の価格557,080円+配送料75,000円

費用合計で**270,175円**も削減が出来た

■アンケートを実施

効果の確認

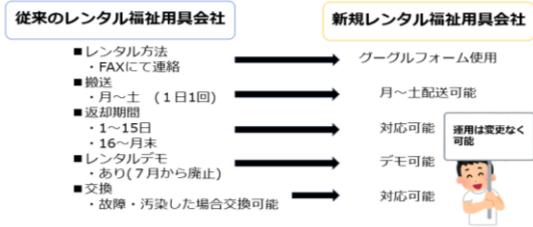
福祉用具の注文に掛かる時間



今までの注文方法より時間が短縮出来ている

■福祉用具レンタルの運用について

効果の確認 運用について



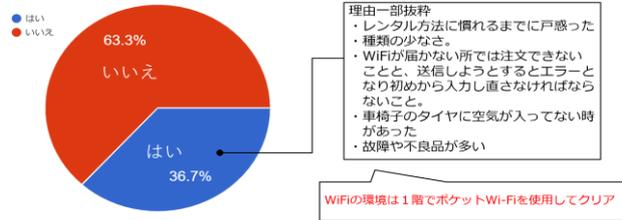
従来福祉用具業者とのレンタル料の差額

モジュール車椅子	0円
コンパクト車椅子	-700円
オートブレーキ車椅子	-500円
リクライニング車椅子	-3,800円
ピックアップ歩行器	-1,970円
スリム歩行器	-700円
シンフォニー	-250円
ベストポジションバー	-800円

ほとんどの福祉用具レンタル料も話し合いの結果、以前の価格より抑えることが出来た

効果の確認

レンタル福祉用具会社が新しくなり不便を感じたか？



理由一部抜粋
・レンタル方法に慣れるまでに戸惑った種類の少なさ。
・WiFiが届かない所では注文できないこと、送信しようとするとエラーとなり初めから入力し直さなければならぬこと。
・車椅子のタイヤに空気が入ってない時があった
・故障や不良品が多い

WiFiの環境は1階でポケットWi-Fiを使用してクリア

【波及効果】

- ・リハクラークの業務量が軽減した
- ・グーグルフォームを使用することで注文の間違いに早期に気づけるようになった
- ・注文方法がシンプルになった為、業務時間の短縮に繋がった

【標準化と管理の定着】

いつ	どこで	誰が	何を	どうする
必要時	各病棟	担当者	不具合のある福祉用具を	スプレッドシートで交換依頼をする
班編成時	各フロア内	フロアの福祉用具係	注文方法を	伝達する
運用方法の変更時	各フロア内	フロアの福祉用具係	変更内容を	伝達する

【今後の課題と展望】

- ・レンタル福祉用具会社との関係性の構築
- ・運用方法を適宜見直し、業務の効率化を図る
- ・スタッフにコスト意識を根付かせ、二重借りをゼロにする
- ・院内のレンタル福祉用具を全て新規レンタル福祉用具会社にする